

児童発達支援ガイドラインによる自己評価について(事業所)

2022年 1月

放課後等デイサービスハート

児童発達支援の質の向上と支援内容の適正化を図る為、
児童発達支援に基づき実施した自己評価の結果を公表致します。

回収率 : 100% (10名/10名)

《調査からの読み取り・改善点》

	調査からの読み取り	改善目標・工夫している点
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・人員不足に対する不安がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が安心して業務に取り組めるよう人材確保に取り組んで参ります。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の支援に対する共通認識が徹底出来ておらず、PDCAサイクルの徹底に広く職員の意見を取り組めていない。 ・第三者等、外部の目を入れての評価体制が徹底出来ておらず、職員内の理解も不透明である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりに対する話し合いの場を積極的に設け、個別支援計画の活用を充実させて参ります。 ・評価体制を見直し、外部評価の徹底に向けて模索していきます。また、内部で出来る評価の見直しも行い、“自主点検表”等公的な資料も活用していきます。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムの立案をチームとして行っているが、見直しが弱く、画一的なサービスの提供が見られる。 ・会議以外での打ち合わせの場の設定が難しい。 ・記録の徹底から、児童の様子を把握し、計画更新の際の材料を揃えていくよう日々の支援で心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・画一的なサービスの提供にならないよう、会議はもとより、日頃から話し合いの場を設けていく。 ・児童を見守る目がより多角的となるよう記録や連絡帳等、児童に関わる業務により多くの職員が関わるよう体制を整えていく。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との情報共有が難しい状況である。ただ、日頃から保護者との情報共有を大切に、保護者からの要望は可能な範囲で叶えていけるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や関係諸機関との連携を図り、児童の課題の共有を図っていきます。チームとしての児童を見守っていく意識を、今後も強く意識して参ります。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会等、保護者同士の連携への支援は難しい現状がある。 ・写真の取り扱いや重要書類の取り扱い等、個人情報への配慮は細心の注意を払って行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携への支援は、希望のあるご家庭がある場合には積極的に行っていきたいと考える。こちらからアプローチを行っていく等、保護者の希望を吸い上げていけるよう努めていきたいと考えている。 ・個人情報については、今後も取り扱いに十分注意していきたいと考える。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを周知、徹底し非常時に適切な対応がとれるよう日頃から職員間で情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な対応の可能性のある児童の情報共有を徹底し、予防的な対応策を講じています。